

史跡郡山城跡保存活用計画（案）に対するパブリック コメントの結果について

1. 募集期間 令和7年2月14日～令和7年2月28日
2. 応募件数 7名から29件
3. 応募方法 郵送、Eメール

	意見要旨	回答
■ 史跡の整備		
1	東側二ノ丸エリアと西側二ノ丸エリアの活用を明確にして再整備する。 常盤曲輪と毘沙門曲輪は歴史文化の発信ゾーンとして、既存施設を利用しつつ展示を充実させる。城址会館は明治以降の郡山の街の姿を伝える場、再建追手門内部は江戸時代の郡山の町の姿を伝える場、梅林は出土転用石や既存の句碑を展示する場として活用する。 緑曲輪・麒麟曲輪は自然と市民のスポーツの場として整備し、情報館を鳥等の自然環境を展示する施設とし、歴史の紹介機能を東の曲輪に移す。	東部曲輪群の歴史的建造物等を活用したガイダンス機能の充実についてp157に掲載していますので、建造物等の活用方法を具体的に検討する際に参考にさせていただきます。 西部曲輪群は、令和6年度末で公園整備が完了するので、当面再整備の予定はございません。情報館の内容更新については東部曲輪群のガイダンス機能向上と一体的に検討します。
2	電線や看板、案内板があるとせっかくの景色が色褪せる。 城跡の案内や注意は冊子やスマートフォンを使い、城跡内には一切の立札や表示板を置かないようにするのが望ましい。 電線を道路脇の溝に入れて電柱をなくした街並みもあるが、道を歩く人が電線に近づき電磁波で頭痛を引き起こすことがあるので、工夫が必要。	多様な来訪者に応じるため、史跡の理解や誘導に必要なとなるサインについては、景観や安全に配慮しながら整備を進めてまいります。
3	城内には重要な石垣があり、鑑賞するには申し分がないが、天守の建物がない。天守の復元は難しいが、専門家にCGによる作図を依頼して天守台前に案内板を設置し掲示してはどうか(あくまで本物でない断りを入れた上で)。 CGは、天守、白沢門、弓櫓の3箇所ぐらいは必要だと思う。	城郭建築のCGについては、当面は既存のアプリケーションで公開しているCGの利用を促進してまいります。
4	多様な来訪者が史跡内を快適に周遊するために、可能な限りバリアフリーに配慮し、建築物等もユニバーサルデザインを考慮してほしい。極楽橋や柳澤神社へのアクセスは車椅子や高齢者等歩行困難者へのバリアとなっている。整備にあたってはバリアフリーを念頭に専門家の意見を聞きながら本質的価値を考えてほしい。	p156に掲載しているように、動線の整備を進める上で、可能な限りバリアフリーに配慮します。城郭は元々侵入を困難にする構造に設計されているので、その価値を損なわないよう、慎重に検討します。

	意見要旨	回答
5	竹林門石垣を修理する場合、車椅子利用者が安全に通れるような改修を行うのか。（現在は介助者なしでは危険な状態である。姫路城でも石段通路をスロープにしている場所がある。） 石垣修理の間に車椅子やベビーカー利用者が竹林門付近を通れないのであれば、郡山城跡が目ざされている今こそ極楽橋に後付けスロープを設置してはどうか。動線の整備にとっても有効な方策と考える。	ご意見は石垣修理に伴う修景整備や動線整備を具体的に検討する際に参考とさせていただきます。なお、修理や整備は、所有者や来訪者に不便が生じないように配慮して進めてまいります。
■ 史跡の保存		
6	天守台下の本丸東面石垣の孕みが大きくなっているような気がする。変化はないのか？	天守台展望施設の整備中から令和元年まで定期的に、以後も地震や大雨の度に観察していますが、大きな変化は認められません。今後も注意して観察を継続します。
■ 史跡の植栽		
7	左京堀が雑樹木に覆われている。特に玄武曲輪が密林のようだ。不要な樹木を伐採し、管理できる樹木を植えてほしい。これらの樹木が天守台からの奈良方面への展望も妨げている。せめて現在管理が行き届いている鰻堀のように整備してほしい。	左京堀および玄武曲輪の樹林については、p155に掲載しております土坡の整備と一体的に植栽を検討します。
8	史跡内で気になる植栽が3箇所ある。左京堀・玄武曲輪は、樹木が伸び、天守台から南都大寺院への眺望を妨げている。この眺望は郡山城立地の理由なので、早く適切な高さに切ってほしい。 本丸の柳澤保申伯頌徳碑前に桜があるが、葉桜になると碑が見えなくなる。本丸の柳澤神社は保申公もお祀りする神社なので、適切に切ってほしい。 郡山高校南側の樹木について、公園基本計画で石垣への眺望を確保するために植栽を整備するとある。計画書でも問題点としており、早く適切な高さに切ってほしい。（10年ほど前には石垣が見えていたと思う）	左京堀および玄武曲輪の樹林については、p155に掲載しております土坡の整備と一体的に植栽を検討します。 植栽環境については、p156に掲載しておりますように、今後植栽管理方針を定めて具体的な取り組みを検討します。
9	計画書に記された樹木以外に、月桂樹やツガ、サワラ等もある。植栽について子供の頃から興味を持って親しんでもらえるように、プレートを設置する等して「見える化」をしても良いのではないかな。	樹木の表示については、今後の史跡整備基本計画策定や公園整備基の際に参考にさせていただきます。

	意見要旨	回答
■公園施設		
10	屋根がある休憩場所が情報館以外にない。 既設パーゴラは柱も床もコンクリートで覆われ植物もなく、日よけの役に全く立っていない。無駄なものに税金が使われている象徴である。計画図面を理解できる人物が責任者になるようお願いする。	休憩施設については、郡山城跡公園の整備と連携して検討しております。史跡内への建築物新設は史跡や景観への影響に配慮しながら必要最小限に留める必要がありますので、ご理解ください。
11	現状トイレが非常に多いが、お祭りの時は便利だろうが、こんなに必要なのか。また、新しく複合遊具ができたが、以前の遊具の方が遊び方として多様だったと思う。トイレより遊具を増やす方が利用価値が高いのではないか。	便益施設については、利用状況を勘案しながら整備を進めています。史跡と直接関わらない設備については、p157に掲載していますように更新を迎える時期に、公園基本計画と調整しながら史跡外への移設や撤去を検討しますので、その際に参考にさせていただきます。
12	観光需要も大事だと思うが、市民が集まりたくなる場所にしてほしい。市内には健康遊具が九条公園にしかないので、歴史的景観に配慮しつつ健康増進のための遊具を増やしてほしい。	史跡内は史跡に関わらない工作物の新設が原則として認められませんので、健康遊具は新設できません。p153に掲載している広い敷地を活かした健康増進の取り組みとして、散策やランニング、体操等、施設整備を伴わない利用の促進を想定しています。
13	健康・体力増進ができるような散策道がほしい。例えば西公園に中高齢者も楽しめる運動効果が期待できる設備があると、市民の憩いの場、交流の場、レクリエーションの場として活用できると思う。	史跡内は史跡に関わらない工作物の新設が原則として認められませんので、健康遊具は新設できません。p153に掲載している広い敷地を活かした健康増進の取り組みとして、散策やランニング、体操等、施設整備を伴わない利用の促進を想定しています。
■交通・駐車場		
14	城址会館付近に車が駐車されているが、歴史的なものを感じるために訪れても景観が損なわれているように感じる。駐車車両が桜の枝に接触している場面もみる。 駐車場がないのであれば、市役所や情報館南へ誘導した方が良い。	史跡の景観に影響する利用は好ましくありませんが、多様な目的の来訪者に配慮しながら史跡地付近での駐車場の整備ができない現状では、車両の規制は困難と考えております。
15	城跡内の現実の駐車場事情について、計画書でほとんど触れられていないように思う。 仮設駐車場でないはずの追手門前や常盤曲輪にまで自家用車が停められている。陣甫曲輪は道幅も狭く、歩行者と車のすれ違いに注意が必要であり、追手門横の駐車場を廃止し、緑曲輪の情報館前に統一してはどうか。	史跡の景観に影響する利用は好ましくありませんが、多様な目的の来訪者に配慮しながら史跡地付近での駐車場の整備ができない現状では、車両の規制は困難と考えております。

	意見要旨	回答
16	近鉄郡山駅の移転計画で駐車場を取り壊せば駐車場が不足する。また、車をバスロータリーまで入れると大変混雑する。 出来るだけ市中心部に車を入れず、五軒屋敷跡ぐらいで止める必要がある。バスパーク付近の土地を購入するなどして、大きな駐車場を整備できないか。 城内に入る車を減らすことで、城内観光が安全になると思う。	史跡指定地外を含む広域を対象とした都市計画に関わりますので、今後の中心市街地の都市計画を検討する上で参考にさせていただきます。
17	史跡内の市道について、路側帯の白線がないことや交通量が多いことから危険を感じる。子供が多くなりそうな場所でもあり配慮が必要に感じる。	道路の安全な管理について、引き続き関連機関と連携して対応してまいります。
18	県道城廻り線と近鉄線が交差する踏切が渋滞するため、史跡内の市道に通り抜け目的で進入する車が多い（9割くらいある様に思う）。 公園整備完了による子供の利用や大河ドラマの影響による観光客の訪問が増加すると思われるが、事故が心配である。 通り抜け目的の車を通行禁止にして、城内に用事がある車両は南門跡から出入りさせてはどうか。	周辺住民の生活に関わる道路でもあるため、現状では車両の規制は困難と考えております。
19	県道城廻り線北部に位置する福祉ゾーンから城跡へのアクセスを検討してほしい。福祉ゾーン再整備計画では駐車場が広く、バスパークも可能と思う。指定地外のサインの充実化、郡山城全域や関連歴史遺産へのアクセスの利便、周遊性の向上が期待できると思う。	福祉ゾーンで整備する駐車場は施設利用者に必要な駐車場であるため、史跡来訪者に供する駐車空間としての利用は困難と考えております。
■城下町の歴史遺産		
20	旧市街にある町家など歴史的木造建造物を資料館やカフェ、レストランとして再生活用できないか。歴史的建造物を資料館とすることで、各家の蔵に眠る歴史資料の受け皿となり、資料の散逸防止にもなる。	p117-118 に掲載している町家の利活用の促進を継続してまいります。
21	「自分たちの町は自分たちでつくろう」をキーワードに、市民、行政マン、企業市民がお金を出しあって古い建物を購入したり修復したりするなど、「シビクトラスト」でまちづくりを進めてはどうか。	現在市で取り組んでいるリノベーションまちづくり事業を進める上でご意見を参考にさせていただきます。

	意見要旨	回答
■展示・ガイダンス施設		
22	奈良県の中核産業都市として、郡山城下町が辿った歴史と人々の生活風景をビジュアル的に解説する施設ないし場所を。 (・秀長が開いた城下町から元禄頃の郡山 ・柳澤時代の郡山の学芸、文化、産業 ・近代の文芸と教育の町、産業の町 ・昭和工業団地と観光郡山の姿)	展示施設の新設は現状では困難ですが、p156 に掲載したガイダンス機能の向上を検討する上で解説内容に関するご意見を参考にさせていただきます。
23	他市のような町の博物館のようなものがないのでぜひ。 常盤曲輪を利用して出土した転用石材を展示したり、北郡山町にある文化財施設を活用して発掘品や箱本十三町を紹介する展示施設を整備できないか。	博物館相当施設の新設は現状では困難ですが、p156 に掲載しているガイダンス機能の向上を検討する上で展示内容に関するご意見を参考にさせていただきます。
24	総構えのジオラマがあれば、視覚的に学習でき、また城下町周遊などにわかりやすい。	p156 に掲載しているガイダンス機能の向上を検討する上で参考にさせていただきます。
■城下町の街並み		
25	城下町に由来する町名を、立札や明治の西洋文明調の説明板で発信し、また、町名を表現する店を各町で営業して伝統的手法を楽しみながら体験学習する場を整備しては。	城下町の町名解説板は、当面は既設の解説板を維持管理します。城下町の店舗については、現在市で取り組んでいるリノベーションまちづくり事業を進める上で参考にさせていただきます。
26	車の進入を抑えて人が安心して歩ける歴史的空間が残る町を取り戻し、人間優先の、安心して暮らせる町づくりを優先してほしい。	史跡指定地外を含む広域を対象とした都市計画に関わりますので、今後の中心市街地の都市計画を検討する上で参考にさせていただきます。
■観光資源として		
27	平城京、西の京、郡山、法隆寺、今井町の5箇所をリンクし、歴史街道ゴールデンルートとして世界に発信したい。	p153 に掲載している、まちづくりにおける活用を検討する上で参考にさせていただきます。
28	蘭町線の九条通りから外堀緑地南門付近を城下町の中核観光ロードとして、既存の設備を利用しながら観光客が快適に歩ける道に再整備してはどうか。 (夏の日射を防ぐ設備や街路樹の整備、蘭町線から市内の観光地へのルート明示、情報・展示施設の充実)	史跡指定地外を含む広域を対象とした都市計画に関わりますので、今後中心市街地の都市計画を検討する上で参考にさせていただきます。
■大河ドラマ		
29	大河ドラマの関連事業費が予算計上されているが、郡山城跡のシンボルとして一過性でなく後世に残るものを検討してほしい。シビックプライドの醸成につながると確信している。	大河ドラマ関連事業を検討する上で参考にさせていただきます。また、p162 に掲載しておりますように、ドラマ放送後も有効に利用できるサインや動線の整備について、放送前から進める計画です。